

平成26年度

静岡県訪問看護ステーション実態調査

報告書

一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会



## 平成26年度 静岡県訪問看護ステーション実態調査

### I 目的

本調査は、退職の原因を含む静岡県内の訪問看護ステーション実態を把握し、今後の訪問看護ステーション活動の発展向上に役立てることを目的としています。

### II 調査概要

- (1) 調査対象 静岡県内の現存する訪問看護ステーション 172ヶ所  
(東部66ヶ所、中部49ヶ所、西部57ヶ所)  
平成24年調査時 : 135ヶ所 (東部49ヶ所、中部36ヶ所、西部50ヶ所)
- (2) 回答件数 172件 (回収率100%)
- (3) 調査内容 ① 訪問看護ステーションの届出状況  
② 訪問看護ステーションの実施状況  
③ 看護職員の就業状況  
④ 看護職員の退職状況

III 調査方法 郵送配布、郵送回収 (日記方式)

IV 調査期間 平成26年8月21日～10月18日  
調査基準日：平成26年9月1日～30日

### V 調査結果

#### 1. 訪問看護ステーションの概要

##### 1) 設置主体

「株式会社・有限会社・合同会社」が76ヶ所 (44.2%) と最も多い。次いで医療法人が44ヶ所 (25.6%) である。

前回調査時より「株式会社・有限会社・合同会社」が32ヶ所増えている。

表1 設置主体別割合 (N=172)

設置主体	数	割合	第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合
公立	6	3.5%	7	5.2%	8	6.5%
日赤	3	1.7%	3	2.2%	3	2.4%
医療法人	44	25.6%	40	29.6%	39	31.7%
医師会	2	1.2%	2	1.5%	2	1.6%
看護協会	4	2.3%	4	3.0%	4	3.3%
社団法人・財団法人	8	4.7%	7	5.2%	7	5.7%
社会福祉協議会	4	2.3%	4	3.0%	4	3.3%
社会福祉法人	15	8.7%	13	9.6%	12	9.8%
農業協同組合連合会・農協共済	9	5.2%	9	6.7%	9	7.3%
株式会社・有限会社・合同会社	75	43.6%	44	32.6%	33	26.8%
特定非営利活動法人	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
協同組合	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
計	172	100.0%	135	100.0%	123	100.0%

##### 2) 同一法人の併設医療機関

同一法人の併設医療機関は「併設あり」が79ヶ所 (45.9%)、「併設なし」は93ヶ所 (54.1%) であった。「併設あり」のうち、病院・診療所共に併設しているのは23ヶ所 (13.4%)、病院のみが41ヶ所 (23.8%)、診療所のみが15ヶ所 (8.7%) であった。

前回の調査結果と比較すると、併設する医療機関のない事業所が33ヶ所と大幅に増加している。

表2 同一法人の併設医療機関の有無 (N=172)

	数	割合	第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)		
			数	割合	数	割合	
併設有	病院	41	23.8%	39	28.9%	44	35.8%
	診療所	15	8.7%	15	11.1%	15	12.2%
	病院・診療所	23	13.4%	21	15.6%	10	8.1%
併設医療機関 無	93	54.1%	60	44.4%	54	43.9%	

##### 3) 同一法人の併設事業

同一法人で「併設事業あり」は、140ヶ所 (81.4%) で、前回調査より24ヶ所増え、「併設事業なし」は前回調査より13ヶ所多い32ヶ所 (18.4%) であった。併設事業の内訳で最も多いのは、居宅介護支援事業で111ヶ所 (79.3%)、次いで訪問介護68ヶ所 (48.6%)、通所介護66ヶ所 (47.1%)、通所リハ48ヶ所 (34.3%) であった。

表3 同一法人併設事業の有無 (N=172)

	数	割合	第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
			数	割合	数	割合
併設事業あり	140	81.4%	116	85.9%	105	85.4%
併設事業なし	32	18.6%	19	14.1%	18	14.6%
計	172	100.0%	135	100.0%	123	100.0%

表3-2 併設事業の内訳 複数回答 (n=140)

事業の種類	数	割合	第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
			数	割合	数	割合
訪問介護	68	48.6%	60	51.7%	49	46.7%
訪問入浴介護	13	9.3%	19	16.4%	8	7.6%
訪問リハビリ (医療機関)	20	14.3%	19	16.4%	13	12.4%
療養通所介護	6	4.3%	12	10.3%	6	5.7%
通所介護	66	47.1%	57	49.1%	49	46.7%
通所リハビリ	48	34.3%	46	39.7%	43	41.0%
福祉用具貸与	20	14.3%	15	12.9%	9	8.6%
短期入所生活介護	20	14.3%	17	14.7%	14	13.3%
短期入所療養介護	28	20.0%	26	22.4%	24	22.9%
ケアハウス	6	4.3%	8	6.9%	9	8.6%
グループホーム	29	20.7%	23	19.8%	18	17.1%
居宅介護支援	111	79.3%	92	79.3%	97	92.4%
小規模多機能	19	13.6%	16	13.8%	11	10.5%
特別養護老人ホーム	17	12.1%	19	16.4%	15	14.3%
老人保健施設	36	25.7%	37	31.9%	28	26.7%
複合型サービス	2	1.4%	0	0.0%		
定期巡回・随時対応	14	10.0%				
その他	24	17.1%	13	11.2%	15	14.3%

4) 加算の届出状況

加算の届出状況は、これまでの調査同様特別管理加算が最も多く、161ヶ所 (93.6%) である。精神科訪問看護療養費は、68ヶ所 (38.4%) が届出をしている。機能強化型訪問看護管理療養費1は3ヶ所、機能強化型訪問看護管理療養費2は6ヶ所が届出をしている。

表4 加算の届出状況 (N=172)

加算の種類	届出の有無	事業所数		第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
		数	割合	数	割合	数	割合
緊急時訪問看護加算		156	90.7%	121	89.6%	105	85.4%
特別管理加算		161	93.6%	126	93.3%	115	93.5%
ターミナルケア加算		153	89.0%	120	88.9%	105	85.4%
24時間対応体制加算		148	86.0%	113	83.7%	98	79.7%
24時間連絡体制加算		10	5.8%	27	20.0%	22	17.9%
居宅療養管理指導		14	8.1%	12	8.9%	13	10.6%
サービス提供体制強化加算		91	52.9%	88	65.2%	81	65.9%
専門研修を受 けた看護師	緩和ケア 褥瘡ケア	8	4.7%				
15	8.7%						
定期巡回・随時対応サービス連携		15	8.7%				
機能強化型訪問看護管理療養費1		3	1.7%				
機能強化型訪問看護管理療養費2		6	3.5%				
精神科訪問看護療養費		68	38.4%				
精神科複数回訪問加算		25	14.5%				
精神科重症患者早期集中支援管理連携加算		7	4.1%				

5) 契約による訪問の状況

契約による訪問の状況は、グループホームがもっとも多い。

表5 契約状況

	事業所数		第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
	数	割合	数	割合	数	割合
グループホーム	43	25.0%	35	25.9%	24	19.5%
特定施設	8	4.7%	7	5.2%	4	3.3%
特別養護老人ホーム	3	1.7%	1	0.7%	3	2.4%

6) 職員体制（平成26年9月の状況）

職員区分別では、「看護職員」が1,093人（72.3%）、「リハビリ職員」が285人（18.9%）「事務職員」が126人（8.3%）であった。

前回調査の常勤換算からの変化をみると、従事者総数は233.6人の増加である。看護師が最も多く121.2人の増加、次いでPTが33.6人の増加であった。1事業所あたりの職種別従事者数でみると、「看護職員」の常勤換算は4.55人と、第1回・第2回調査より減少している。一方「リハビリ職員」は1.43人と、第1回・第2回調査より更に増加している。

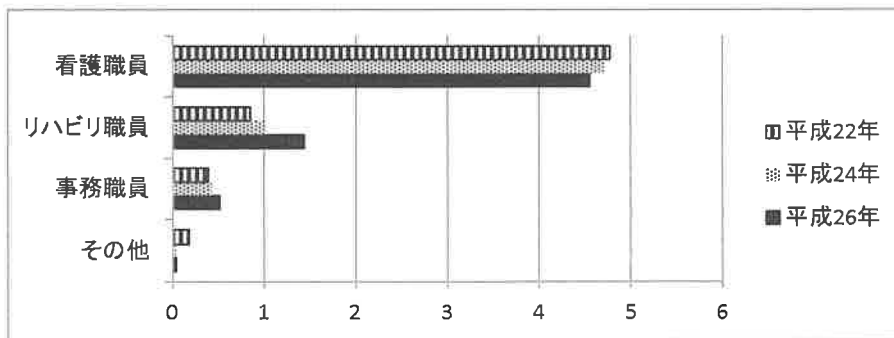
表6 職種別職員数 平成26年9月現在（単位：人）

	従事者数			常勤換算従事者数		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	総数	常勤	非常勤	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
総数	1,511	869	642	1072.2	100%	838.6	100%	763.7	100%
保健師	15	10	5	11.2	1.0%	11.3	1.4%	7.7	1.0%
助産師	6	4	2	4.1	0.4%	2.1	0.2%	2.2	0.3%
看護師	997	554	443	710.5	66.3%	589.3	70.3%	544.0	71.2%
准看護師	75	39	36	57.0	5.3%	32.9	3.9%	34.0	4.5%
理学療法士	198	132	66	136.2	12.7%	102.6	12.2%	77.7	10.2%
作業療法士	77	45	32	54.0	5.0%	35.1	4.2%	26.0	3.4%
言語療法士	10	6	4	4.3	0.4%	1.8	0.2%	1.8	0.2%
事務職員	126	72	54	87.9	8.2%	58.6	7.0%	48.3	6.3%
その他	7	7	0	7.0	0.7%	4.9	0.6%	22.0	2.9%

表6-2 1事業所あたりの職種別従事者数（N=172、単位：人）

	従事者数			常勤換算従事者数	第2回調査 (H24.9)	第1回調査 (H22.9)
	総数	常勤	非常勤			
総数	8.79	5.05	3.37	6.23	6.21	6.20
保健師	0.09	0.06	0.03	0.07	0.08	0.06
助産師	0.04	0.03	0.01	0.02	0.02	0.02
看護師	5.80	3.22	2.58	4.13	4.33	4.42
准看護師	0.44	0.23	0.21	0.33	0.28	0.28
理学療法士	1.15	0.77	0.38	0.79	0.76	0.63
作業療法士	0.45	0.26	0.19	0.31	0.26	0.21
言語療法士	0.05	0.03	0.02	0.33	0.01	0.01
事務職員	0.73	0.42	0.31	0.51	0.43	0.39
その他	0.04	0.04	0	0.04	0.04	0.18

図1 1事業所あたりの職種別従事者割合の前回調査との比較（N=172、単位：人）



看護職員の常勤換算数は「3.0～3.9人」が45ヶ所（26.2%）と最も多く、次いで「2.5～2.9人」で40ヶ所（23.3%）であった。5人未満のステーションは、121ヶ所（70.3%）と前回調査より更に小規模ステーションが増えている。平成26年4月以降の新設事業所20ヶ所の常勤換算数は

「2.5～2.9人」が9ヶ所（45%）「3.0～3.9人」9ヶ所（45%）と18ヶ所（90%）が4人未満である。

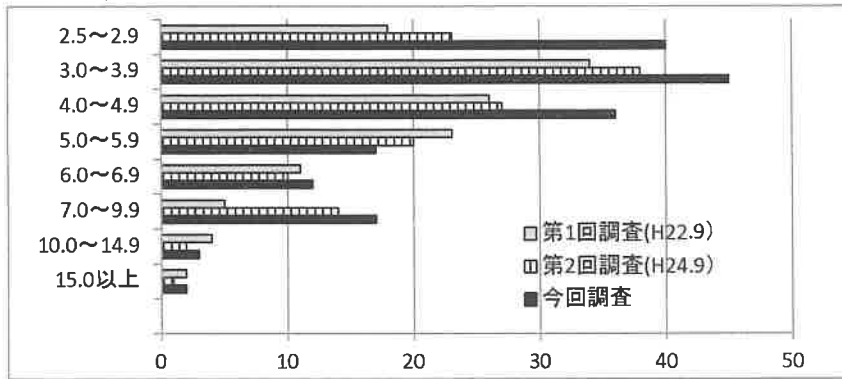
表7 看護職員常勤換算数とステーション数（N=172）

常勤換算数	今回調査	第2回調査 (H24.9)	第1回調査 (H22.9)
2.5～2.9	40	23	18
3.0～3.9	45	38	34
4.0～4.9	36	27	26
5.0～5.9	17	20	23
6.0～6.9	12	10	11
7.0～9.9	17	14	5
10.0～14.9	3	2	4
15.0以上	2	1	2
計	172	135	123

表8 平成26年4月以降開設事業所の常勤換算数（n=20）

常勤換算数	新設事業所数
2.5～2.9	9
3.0～3.9	9
4.0～4.9	1
5.0～5.9	0
6.0～6.9	1
計	20

図2 看護職員常勤換算数とステーション数 (N=172)

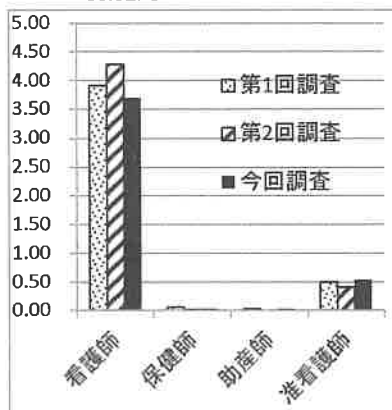


看護職の常勤換算数を地区別でみると、東部は1回目の調査より2回目は増加したが、今回調査では1回目より減少している。中部は、調査の度に減少している。西部は2回目調査で一旦は減少したが、今回調査では1回目調査時よりやや増加している。

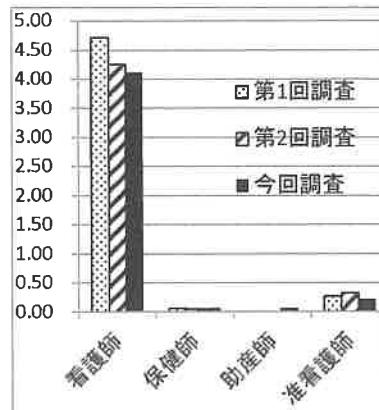
表9 看護職の地区別常勤換算数

	東 部			中 部			西 部		
	今回調査	第2回調査(H24.9)	第1回調査(H22.9)	今回調査	第2回調査(H24.9)	第1回調査(H22.9)	今回調査	第2回調査(H24.9)	第1回調査(H22.9)
看護師	3.69	4.29	3.92	4.11	4.25	4.71	4.66	4.52	4.71
保健師	0.02	0.01	0.06	0.06	0.04	0.06	0.13	0.18	0.07
助産師	0.02	0.00	0.02	0.05	0.00	0.00	0.00	0.04	0.03
准看護師	0.53	0.40	0.50	0.21	0.32	0.27	0.21	0.04	0.05
計	4.26	4.70	4.50	4.43	4.61	5.04	5.00	4.78	4.86

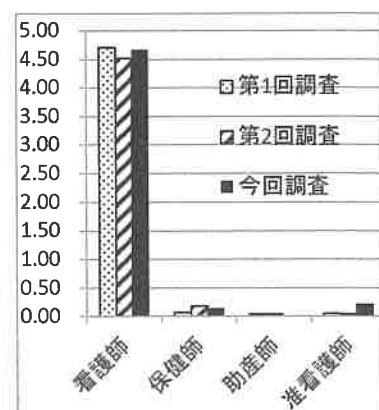
【東部】



【中部】



【西部】



7) 従事者数と利用者数

172事業所全体の「常勤専従」の従事者数の平均は、「看護師」2.49人以外は1人に満たないが、「利用者数100人未満」と「利用者100人以上」のステーションで比較すると、後者では4.09人、「理学療法士」1.24人、「作業療法士」0.70人など、従事者数が多い。

172事業所全体の「常勤兼務」の従事者数の平均は、「看護師」の0.73人以外はわずかな数である。「利用者100人以上」のステーションでは「常勤兼務」の「看護師」は、1.27人と多い。

表10 利用者数別 (N=172)

利用者数	事業所数	構成割合
100人以上	33	19.2%
100人未満	139	80.8%
合計	172	100.0%

表11 全ステーションの常勤の平均 (N=172)

	常勤	
	専従	兼務
保健師	0.03	0.03
助産師	0.02	0.01
看護師	2.49	0.73
准看護師	0.20	0.02
理学療法士	0.52	0.25
作業療法士	0.19	0.07
言語療法士	0.01	0.03
事務職員	0.26	0.16
その他	0.04	0

表12 利用者100人以上の事業所の常勤平均 (n=33)

	常勤	
	専従	兼務
保健師	0.03	0.06
助産師	0	0
看護師	4.09	1.27
准看護師	0.12	0.03
理学療法士	1.24	0.12
作業療法士	0.7	0.12
言語療法士	0	0.02
事務職員	0.45	0.27
その他	0.09	0

表13 利用者100人以下の事業所の常勤平均 (n=139)

	常勤	
	専従	兼務
保健師	0.03	0.02
助産師	0.02	0.01
看護師	2.11	0.06
准看護師	0.22	0.02
理学療法士	0.35	0.28
作業療法士	0.07	0.06
言語療法士	0.01	0.03
事務職員	0.21	0.14
その他	0.03	0

2. 利用者の状況（平成26年9月1日～9月30日の1ヶ月）

1) 利用者の年齢・性別

平成26年9月の1ヶ月間の訪問看護利用者総数は、11,870人であった。前回調査より1,921人増加している。男女比率は、男性5,384人（45.4%）、女性6,486人（54.6%）前回調査と同じ割合である。年齢別では75～89歳が最も多く、これまでの調査と同様で、訪問看護利用者全体の約半数を占める。

2) 保険別の利用者数・訪問回数

保険別の利用者数は、介護保険が9,107人（76.7%）、健康保険が2,670人（22.5%）であった。保険別の利用者の割合は、これまでの調査より医療保険の利用者数がやや増加している。保険別の訪問回数の割合も、これまでの調査より医療保険の訪問回数がやや増加している。

表14 利用者の年齢別・性別数

	性別		利用者総数		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～15歳	111	77	188	1.6%	150	1.5%	102	1.1%
16～39歳	138	100	238	2.0%	172	1.7%	157	1.8%
40～64歳	704	611	1,315	11.1%	1,050	10.6%	978	11.0%
65～74歳	1,126	905	2,031	17.1%	1,684	16.9%	1,599	18.0%
75～89歳	2,725	3,275	6,000	50.5%	5,148	51.8%	4,558	51.2%
90歳以上	580	1,518	2,098	17.7%	1,745	17.5%	1,500	16.9%
計	5,384	6,486	11,870	100.0%	9,949	100.0%	8,894	100.0%

表15 保険別利用者数

	利用者数		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護保険	9,107	76.7%	7,987	80.3%	7,206	81.0%
医療保険	2,670	22.5%	1,879	18.9%	1,656	18.6%
その他	93	0.8%	83	0.8%	32	0.4%
計	11,870	100.0%	9,949	100.0%	8,894	100.0%

表16 保険別訪問回数

	訪問回数		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合
介護保険	51,801	72.7%	44,054	76.5%	38,548	76.1%
医療保険	18,849	26.5%	13,282	23.0%	11,975	23.6%
その他	547	0.8%	290	0.5%	134	0.3%
計	71,197	100.0%	57,626	100.0%	50,657	100.0%

3) 介護保険利用者の内訳

介護保険利用者の介護度別でみると、要介護5が最も多く1,795人（19.7%）であるが、これまでの調査時より利用者数は減少している。要介護4は1,595人（17.5%）、要介護3は1,352人（14.8%）と利用者は微増であり、利用者の割合では減少している。要支援1・2、要介護1・2は利用者数も利用者割合も増加している。

表17 介護保険の介護度別利用者状況（人数）

	利用者数		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
要支援1・2	1,039	11.4%	681	8.5%	552	7.8%
要介護1	1,635	18.0%	1,213	15.2%	911	12.8%
要介護2	1,691	18.6%	1,436	18.0%	1,176	16.5%
要介護3	1,352	14.8%	1,260	15.8%	1,154	16.2%
要介護4	1,595	17.5%	1,478	18.5%	1,456	20.4%
要介護5	1,795	19.7%	1,919	24.0%	1,875	26.3%
計	9,107	100.0%	7,987	100.0%	7,124	100.0%

表18 介護保険の介護度別利用者状況（訪問回数）

	訪問回数		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合
要支援1・2	4,506	8.7%	3,024	6.9%	2,340	6.2%
要介護1	8,316	16.1%	6,123	13.9%	4,505	11.8%
要介護2	9,521	18.4%	7,816	17.7%	6,037	15.8%
要介護3	7,608	14.7%	6,949	15.8%	5,879	15.4%
要介護4	9,545	18.4%	8,582	19.5%	7,931	20.8%
要介護5	12,286	23.7%	11,560	26.2%	11,409	30.0%
計	51,782	100.0%	44,054	100.0%	38,101	100.0%

図3 介護度別利用者数（過去調査との比較）

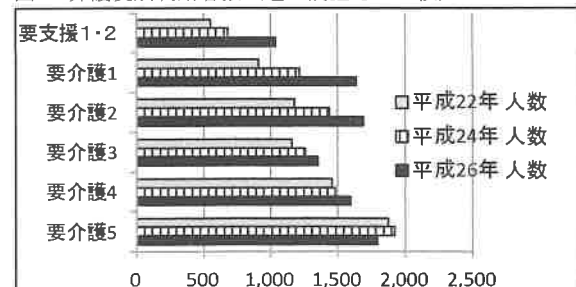
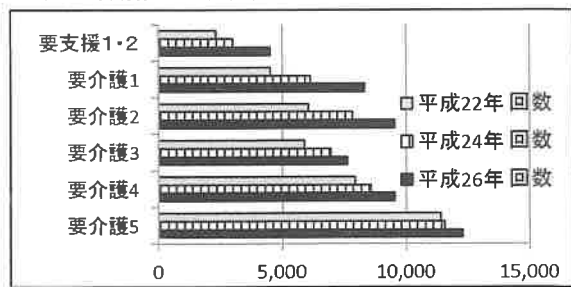


図4 介護度別訪問回数（過去調査との比較）



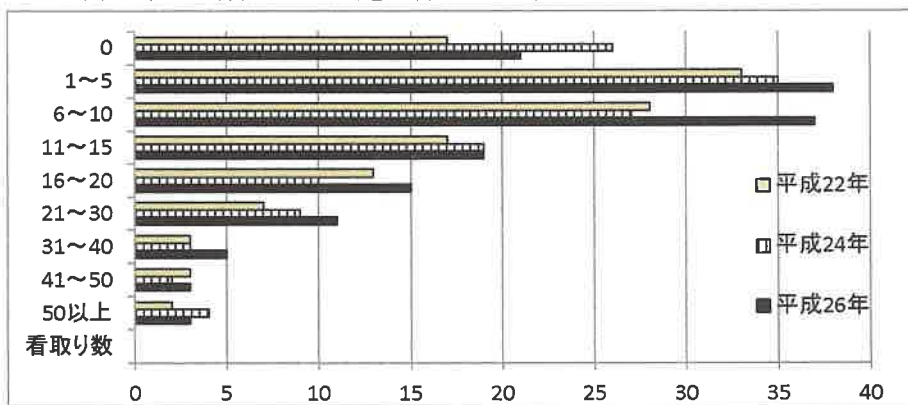
4) 在宅での看取り件数

在宅での看取りは1,699件で、前回調査の1,382件より増加している。  
 平成26年4月以降に新設された20ヶ所の事業所を除く152ヶ所の事業所の内、看取りを行った事業所は、131ヶ所(86.2%)である。前回調査の看取り0件事業所は、24年度新設9ヶ所を除くと17ヶ所であったが、今回は21ヶ所に増えている。

表19 看取りの件数 (n=152)

看取り数	事業所数	割合	第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			事業所数	割合	事業所数	割合
0	21	13.8%	26	19.3%	17	13.8%
1~5	38	25.0%	35	25.9%	33	26.9%
6~10	37	24.3%	27	20.0%	28	22.8%
11~15	19	12.5%	19	14.1%	17	13.8%
16~20	15	9.9%	10	7.4%	13	10.6%
21~30	11	7.2%	9	6.6%	7	5.7%
31~40	5	3.3%	3	2.2%	3	2.4%
41~50	3	2.0%	2	1.5%	3	2.4%
50以上	3	2.0%	4	3.0%	2	1.6%
計	152	100.0%	135	100.0%	123	100.0%

図5 看取り件数 (過去調査との比較)



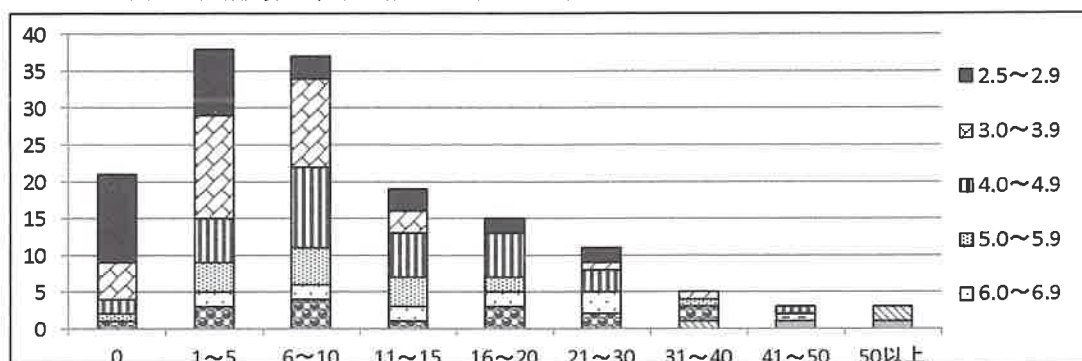
事業所規模別の看取りの状況

50件以上の看取りを行っている事業所の常勤換算は、15人以上が1ヶ所、10.0~14.9人が2ヶ所であった。常勤換算10人以上の事業所では、少ないところでも30件以上の看取りを行っている。常勤換算4.0~4.9人で40件以上の看取りを行っている事業所が1ヶ所、3.0~3.9人で30件以上の看取りを行っている事業所が1ヶ所ある。

表20 常勤換算別看取り数 (n=152)

常勤換算数	看取り件数 (平成25年度中)									合計
	0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~30	31~40	40~50	50以上	
2.5~2.9	12	9	3	3	2	2	0	0	0	31
3.0~3.9	5	14	12	3	0	1	1	0	0	36
4.0~4.9	2	6	11	6	6	3	0	1	0	35
5.0~5.9	1	4	5	4	2	0	1	0	0	17
6.0~6.9	0	2	2	2	2	3	0	0	0	11
7.0~9.9	1	3	4	1	3	2	2	1	0	17
10.0~14.9	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
15.0以上	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	21	38	37	19	15	11	5	3	3	152

図6 常勤換算別看取り数 (n=152)





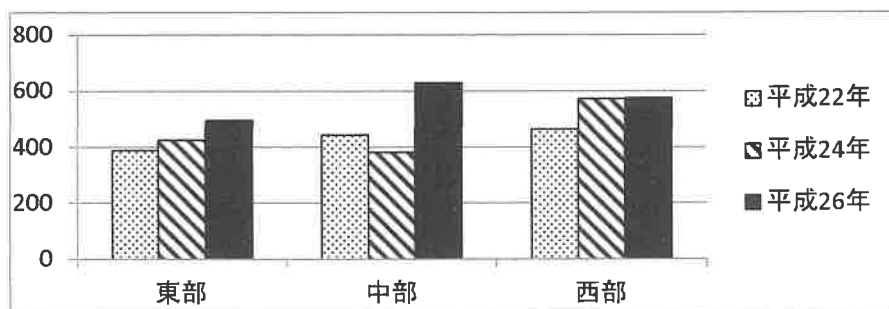
地区別の看取りの状況

看取り数を地区別で見ると、東部は494件で、前回調査より69件の増加である。中部は、前回調査では減少していたが、今回は246件増の629件の看取りがあった。西部は、前回とほぼ同じ看取り数であった。

表21 地区別看取り数

地区	数	割合	第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
			数	割合	数	割合
東部	494	29.1%	425	30.8%	390	30.0%
中部	629	37.0%	383	27.7%	443	34.1%
西部	576	33.9%	574	41.5%	466	35.9%
計	1,699	100.0%	1,382	100.0%	1,299	100.0%

図7 地区別看取り数（過去調査との比較）



5) 医療処置の実施状況

全事業所が実施している医療処置は、これまでの調査同様で服薬だけである。褥瘡処置と点滴・静脈・持続皮下注射は169ヶ所（98.3%）が実施している。在宅腹膜灌流114ヶ所（66.3%）と少ないが、前回調査より25ヶ所増えている。PTやOTによるリハビリも95ヶ所（55.2%）と19ヶ所増えている。

表22 医療処置の実施状況 (N=172)

項目	対応可能		第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
インスリン	167	97.1%	125	92.6%		
点滴・静脈・持続皮下注射	169	98.3%	130	96.3%	115	95.3%
中心静脈栄養	161	93.6%	120	88.9%	104	84.6%
在宅自己腹膜灌流	114	66.3%	89	65.9%	66	53.7%
ストーマケア	167	97.1%	129	95.6%	117	95.1%
在宅酸素療法	167	97.1%	132	97.8%	119	96.8%
人工呼吸器	147	85.5%	115	85.2%	91	74.0%
気管カニューレ	159	92.4%	122	90.4%	110	89.4%
吸入・吸引	168	97.7%	130	96.3%	120	97.6%
服薬	172	100.0%	135	100.0%	123	100.0%
経管栄養	168	97.7%	131	97.0%	121	98.4%
褥瘡処置	169	98.3%	134	99.3%	122	99.2%
留置カテーテル（膀胱内・瘻、胃瘻）	166	96.5%	130	96.3%	120	97.6%
ペインコントロール	157	91.3%	122	90.4%	108	87.8%
在宅リハビリ（看護師）	166	96.5%	131	97.0%	118	95.9%
（PT, OTによる）	95	55.2%	76	56.3%	68	55.3%

### 3 対象者別対応状況

対象別対応状況をみると、悪性新生物と難病に対してはほとんどの事業所が対応している。  
 小児については、前回調査より37ヶ所増の125ヶ所が対応している。精神の訪問は、前回より16ヶ所増えてはいるものの102ヶ所（59.3%）と全体の約半分である。  
 それぞれを年齢別でみると、小児は前回同様1～6歳が最も多いが、16歳以上が増加している。  
 難病は75～89歳が減り、65～74歳が最も多くなっている。悪性新生物は前回同様75～89歳が最も多い。  
 精神も前回同様40～64歳が最も多いもの、件数は減少している。

表23 対象別対応状況 (N=172)

	可		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	ST数	割合	ST数	割合	ST数	割合
小児	125	72.7%	88	65.2%	73	59.4%
難病	163	94.8%	130	96.3%	115	93.5%
悪性新生物	165	95.9%	129	95.6%	119	96.8%
精神	102	59.3%	86	63.7%	73	59.4%

表24 小児 年齢別件数

年齢	件数	割合	第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			件数	割合	件数	割合
1歳未満	49	14.1%	71	21.1%	20	14.8%
1～6歳	131	37.9%	173	51.5%	68	50.4%
6～15歳	69	20.0%	74	22.0%	37	27.4%
16歳以上	97	28.0%	18	5.4%	10	7.4%
計	346	100.0%	336	100.0%	135	100.0%

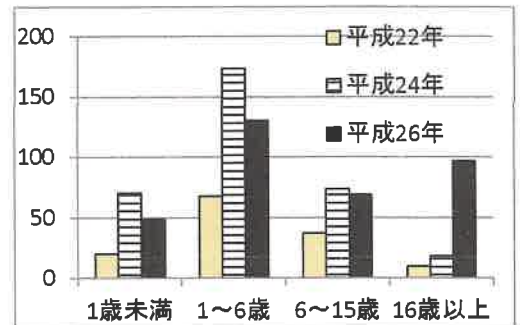


表25 難病 年齢別件数

年齢	件数	割合	第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			件数	割合	件数	割合
1～15歳	44	1.1%	133	2.5%	13	1.1%
16～39歳	125	3.0%	45	0.9%	45	3.7%
40～64歳	569	13.7%	900	17.0%	104	8.6%
65～74歳	1,703	40.9%	1,658	31.4%	274	22.6%
75～89歳	1,652	39.6%	2,525	47.8%	748	61.8%
90歳以上	73	1.7%	24	0.4%	26	2.2%
計	4,166	100.0%	5,285	100.0%	1,210	100.0%

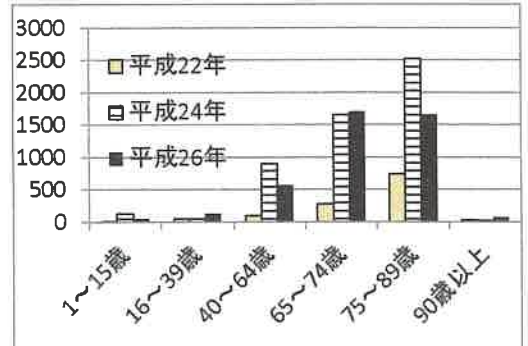


表26 悪性新生物

年齢	件数	割合	第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			件数	割合	件数	割合
1～15歳	5	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
16～39歳	10	0.3%	282	8.1%	4	0.2%
40～64歳	478	15.9%	439	12.7%	161	9.7%
65～74歳	629	21.0%	932	26.9%	404	24.4%
75～89歳	1,639	54.6%	1,472	42.5%	888	53.5%
90歳以上	241	8.0%	339	9.8%	203	12.2%
計	3,002	100.0%	3,464	100.0%	1,660	100.0%

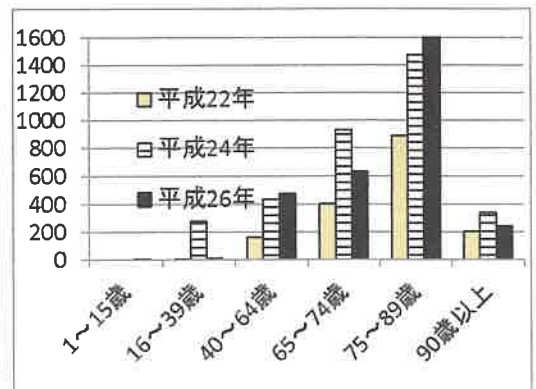
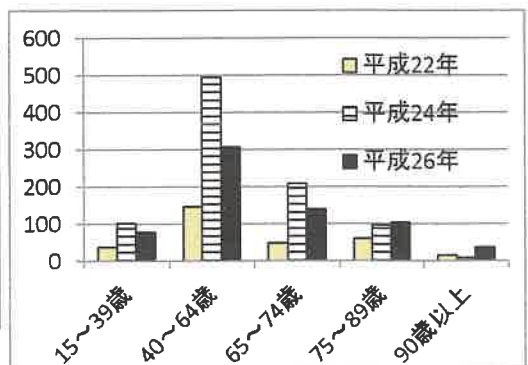


表27 精神 年齢別件数

年齢	件数	割合	第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			件数	割合	件数	割合
15～39歳	78	11.7%	102	11.2%	38	12.2%
40～64歳	307	46.1%	495	54.2%	148	47.6%
65～74歳	140	21.0%	210	23.0%	49	15.8%
75～89歳	104	15.6%	97	10.6%	60	19.3%
90歳以上	37	5.6%	9	1.0%	16	5.1%
計	666	100.0%	913	100.0%	311	100.0%



#### 4. 平成25年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業状況

##### 1) 新規就業者数（平成25年度中）

平成25年度中の新規就業者数は、常勤144人（47.7%）、非常勤158人（52.3%）と前回より大幅に増加している。就業者の看護職としての経験年数は、常勤・非常勤共に10年以上が最も多く、合わせて236人（86.1%）である。就業前の職場は、常勤・非常勤共に病院・診療所が最も多く、合わせて171人（56.6%）である。無職だった人は合わせて23人（7.6%）いた。就業につながった募集方法は、「紹介」と「その他」が多く、合わせて226人（74.8%）である。

表28 看護職員の新規就業者数

	就業者数	割合	第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
			人数	割合	人数	割合
常勤	144	47.7%	89	50.9%	56	34.8%
非常勤	158	52.3%	86	49.1%	105	65.2%
計	302	100.0%	175	100.0%	161	100.0%

表29 新採用者の募集方法

採用方法	人数	割合	第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
			人数	割合	人数	割合
ナースセンター	11	3.7%	14	8.0%	8	4.9%
職安	29	9.6%	27	15.4%	27	16.8%
求人誌	36	11.9%	22	12.6%	16	10.0%
紹介	110	36.4%	61	34.9%	61	37.9%
その他	116	38.4%	51	29.1%	49	30.4%
計	302	100.0%	175	100.0%	161	100.0%

##### 2) 退職者について

退職者は、常勤・非常勤ともに各71人（50%）で、共に前回調査結果より増加している。勤続年数でみると、常勤・非常勤共に1年未満が最も多く、4割前後が1年以内に退職をしている。次いで多いのは、常勤では勤続5年以上で、非常勤では2～3年である。

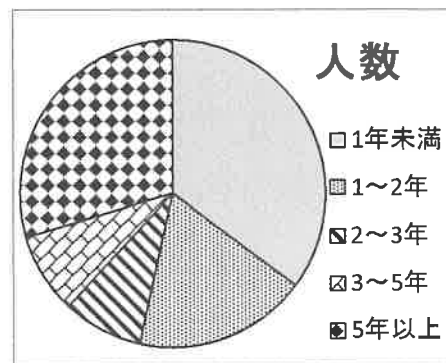
前回同様、就業して2年以内での退職が、常勤では38人（53.5%）、非常勤では39人（54.9%）と、退職者の半数を占めている。

退職の理由は、これまでの調査結果同様、本人と家族の健康問題が最も多い。次いで多かったのが、常勤では「訪問看護が合わない」で、9人（11.6%）あった。非常勤の場合は、転居が多く9人（11.9%）であった。

表30 看護職員の退職者数と勤務年数

##### 【常勤】

	人数	割合	第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
			人数	割合	人数	割合
1年未満	25	35.2%	9	19.2%	16	34.8%
1～2年	13	18.3%	13	27.7%	8	17.4%
2～3年	6	8.5%	5	10.6%	5	10.9%
3～5年	6	8.5%	1	2.1%	7	15.2%
5年以上	21	29.5%	19	40.4%	10	21.7%
計	71	100.0%	47	100.0%	46	100.0%



##### 【非常勤】

	人数	割合	第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
			人数	割合	人数	割合
1年未満	31	43.6%	17	34.0%	15	28.3%
1～2年	8	11.3%	10	20.0%	12	22.6%
2～3年	13	18.3%	7	14.0%	4	7.5%
3～5年	11	15.5%	7	14.0%	11	20.8%
5年以上	8	11.3%	9	18.0%	11	20.8%
計	71	100.0%	50	100.0%	53	100.0%

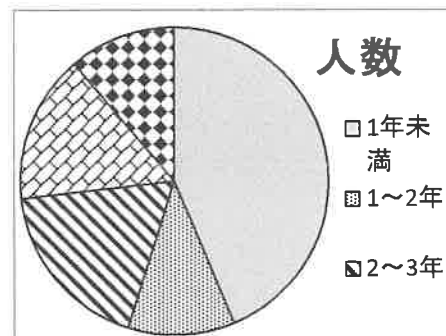


表31 主な退職理由（複数回答あり）

【常勤】

	人数	割合	第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
			人数	割合	人数	割合
出産・育児	5	6.5%	3	5.0%	5	10.4%
結婚	1	1.3%	1	1.7%	2	4.2%
本人の健康問題	13	16.9%	8	13.3%	10	20.8%
家族の健康問題	4	5.2%	8	13.3%	4	8.3%
転居	4	5.2%	4	6.6%	6	12.5%
進学	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
人間関係	7	9.1%	6	10.0%	1	2.1%
訪問看護が合わない	9	11.6%	3	5.0%		
勤務時間長い・超勤多い	1	1.3%	0	0.0%	1	2.1%
休暇がとれない	4	5.2%	1	1.7%	0	0.0%
携帯当番の負担	5	6.5%	7	11.7%	4	8.3%
給与に不満	5	6.5%	7	11.7%	1	2.1%
責任・医療事故への不安	3	3.9%	2	3.3%	0	0.0%
その他	16	20.8%	10	16.7%	14	29.2%
計	77	100.0%	60	100.0%	48	100.0%

【非常勤】

	人数	割合	第2回調査 (H24. 9)		第1回調査 (H22. 9)	
			人数	割合	人数	割合
出産・育児	5	6.6%	7	11.8%	6	11.3%
結婚	1	1.3%	0	0.0%	3	5.7%
本人の健康問題	6	7.9%	9	15.2%	14	26.4%
家族の健康問題	12	15.8%	8	13.6%	5	9.4%
転居	9	11.9%	3	5.1%	6	11.3%
進学	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
人間関係	2	2.6%	3	5.1%	3	5.7%
訪問看護が合わない	3	4.0%	5	8.5%		
勤務時間長い・超勤多い	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
休暇がとれない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
携帯当番の負担	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
給与に不満	1	1.3%	4	6.8%	1	1.9%
責任・医療事故への不安	8	10.5%	3	5.1%	2	3.8%
その他	27	35.5%	17	28.8%	13	24.5%
計	76	100.0%	59	100.0%	53	100.0%

退職理由の記述から

【常勤】

- ・ 定年退職
- ・ 70歳超の為夏場がきつい
- ・ 本人の健康問題（腰痛、不眠症、精神疾患、脊椎椎間板ヘルニアのため歩行困難など）
- ・ 家族（夫・親）が要介護状態になった為
- ・ 経営者、経営方針、雇用人事方針等への不満（3）
- ・ 利用者からのクレームが多い（2）
- ・ 在籍スタッフとのトラブル（3）
- ・ 訪問看護に自信がなく、ケアが自立できない、処置やアセスメントができない、書類作成が苦手
- ・ 同施設内への異動（3）
- ・ 新規に訪問看護ステーションを開設する、他にやりたいことができた
- ・ 家庭の事情（娘の出産、孫の世話）
- ・ 通勤時間が長い

【非常勤】

- ・ 本人の健康問題（鬱療養、腰痛、体調不良など）
- ・ 家族の健康問題（親の介護、子供の病気）
- ・ 家庭の事情（夫協力が得られない。子供の学校関係、自営の手伝い子供の面倒）
- ・ 1人で訪問に行く重責とストレス（2）
- ・ 希望する勤務時間との不一致（2）
- ・ 他へ転職（病院、ステーション、幼稚園他）

